令和６年度緑丘中学校区合同学校運営協議会議事録

１　日時

令和６年７月９日（火）　９：３０～１１：３０

２　内容

⑴ 開会のあいさつ
⑵ 日程説明
⑶ 小中連携研修会報告
⑷ 授業参観
⑸ グループによる意見交換
⑹ 各グループからの報告
⑺ 諸連絡
⑻ 閉会のあいさつ

３　各グループで情報交換した内容

・　授業の様子は、いい雰囲気であった。生徒が荒れていた時代からどのようにしてこのようによくなったのか。地域、教職員、保護者の力で現在の礼儀正しい雰囲気になったのだと思う。
・　不登校生徒への対応に精一杯な現状がある。家庭も余裕がなく、生徒が起きる前に仕事に行き、子供は後から起きてくる。学校へ行こうと思っても車で送る家族が不在で、学校へ歩いて行こうという気持ちになれないのではないか。不登校の子供にどこまでマンパワーをかけるか。不登校が増えている現状では、今、学校に登校している子供に力を注ぐことも大事なのではないか。
・　PTA に加入しない家庭もあるが、PTA 活動について取り組むこと自体が、我が子のためになるという姿勢が大切なのではないか。
・　校内の環境、木が使われて温もりを感じる。窓も多く明るい。安全面での問題はどうなのだろうか。
・　英語のリスニングをしている授業を見て、音響機器が充実し、空調も整えられていると感じた。生徒たちも素直に育っている。ICT 活用が進んでいる。活用のルールについて話題になった。
・　夏休みの課題については画一的なものではなく主体的に取り組む内容も大事。
・　地域で子供が育つには子供同士の結びつきも大事だが、大人同士のつながり、コミュニケーションの取れた環境を作ることが大切。
・　子供が生き生きとしている。学力向上について、どのように取り組めばよいかが話題になった。
・　不登校の生徒への対応は、それぞれの状況もあるが、親と学校が子供の主張に合わせて向き合っていくことが大切。

- 学力だけでなく、非認知能力を高めることが求められている。緑丘中校区は熱い地域で、そういう大人の姿から子供が学ぶことも多いはずだ。
- 車の往来が多い箇所の確認を行った。私たちにできることをしていきたい。送迎についても、保護者に啓発を続けていく。
- 小学生時代から関わっている子供たちの成長を見ることができてうれしく思う。このような場に参加できて、とても勉強になる。
- 休日の小中学生のヘルメットなしでの自転車の運転、スケボーなど、坂が多いこともあり、心配である。
- 水分補給、体調不良が起きないかなど気を使っている。不登校の児童については学校へ行きやすくなる環境づくりに心がけたい。
- 小学生、中学生の地域でのあいさつがもう一歩。まずは、子供たちへ地域の我々から進んで挨拶することを実践したいものだ。
- 地域でのコミュニケーションを大切にしたい。保護者の自動車送迎のマナーが悪い。小中学生のあいさつがもっと良くなるといい。
- 生徒の安全について、地域でも注意し、情報を共有することを確認した。
- 本会で話し合ったことや出された意見を、それぞれ活動する団体等で情報共有することが大切。